

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域における、目指す児童像の共有と、その実現に向けた教育課程の編成及び実施。 ・年間の見通しを明確にした、ICT機器を効果的に活用した授業実践。 ・教科等横断的なカリキュラムと、学校課題を捉えた主題研究の実施。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学年だよりを積極的にHPに掲載するなど、保護者や地域とめざす子ども像を共有し、子どもたちを支援することができた。 ・ICT機器の有効な活用の授業実践を通して、子どもの自ら考えを持つようとする意識が高まった。 ・教科等横断的なカリキュラムをもとに、自分の願いを表現できる子どもを育てる実践を通して、考えを広げ深めることができた。 ＜英語＞ ・ALTと連携して、子どもたちが授業を楽しみ感じられる授業を工夫して行い、積極的に英語でのコミュニケーションを取り入れた。その結果「英語を楽しみ感じる」児童が85%になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が子どもたち一人一人に丁寧に寄り添い指導していることで、子どもたちは学校を楽しく安心してできる場所であると思っている。 ・子どもたちが仲間を大切にしながら、落ち着いて話を聞いたり、話したりしている姿が見られ、互いを思いやりながら、他者とよりよく関わっている。 ・学校が大切にしていることを保護者や地域はもっと知る必要がある。 ＜英語＞ ・授業を充実させるだけでなく、校内で英語に触れられるように掲示や環境をさらに整えて、日常的に英語を意識できるようにするとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価等をふまえ、保護者や地域の願いを具現する教育課程を編成する。 ・HP等を活用し、学校だよりや学年だより等を通して、積極的に学校の様子を発信していく。 ・子どもたちの実態をふまえた全校研究会、職員研修等を通して、情報共有や授業改善に努める。 ＜英語＞ ・子どもたちがさらに英語に親しみ、英語でのコミュニケーションを楽しみたいと思えるように、環境の工夫や授業改善を今後も継続して取り組んでいく。
コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小の連携・協力を旨とした、連絡協議会の実施や学校運営協議会を母体とした地域に学ぶ教育活動の充実。 ・ぎふMIRAI's構想具現に向けた、地域に学ぶ学習活動(生活科・社会科・総合等)での資源や人材の活用。 ・中学校区での挨拶活動や、教務主任や生徒指導を核にした小中一貫教育の推進。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携として、1年生と交流の機会を設け、小学校へのスムーズな接続が図れるようにした。 ・総合や生活科では、積極的に地域の方を講師として活動を仕組んだ。 ・見守り隊に毎日の登下校の見守りを依頼し、学校と地域が連携して安全な登下校を実施することができた。 ・小中合同あいさつ運動を実施し、あいさつを活性化することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を中心に、地域の人・ものごとについて学ぶ機会を積極的に取り入れ、学校と地域が連携し、地域のよさを実感し、地域を愛する心を育てていきたい。 ・地域や家庭、学校が具体的な子どもを通して意見交換をし、三者一体となって児童を育てていきたい。また、人との関わりをより充実していける取組を、地域として工夫していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の姿が向上してきている。次年度も継続できるように、児童会を中心とする子ども達の自主的な取組を、保護者と共に支えていく。 ・児童の願いや実態、つけたい力を明確にし、総合や生活科でどのように地域の資源や人材を活用していくのか、地域と学校で継続的に議論を重ねていく。
あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・専門スタッフやコミュニティ・スクール等の地域人材の積極的な活用。 ・授業や行事等における具体的な児童の姿や事例を通して学級経営を学び合うことによる生徒指導力の向上。 ・学校運営協議会やPTA、地域からの意見や情報を活用した学習指導や学級経営向上の実施。 ・「チーム岩野田北」を合言葉に、子どもの成長をやりがいとして取り組む温かく風通しのよい職員集団の形成。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉体験、戦争講話、読み聞かせ、野菜作りなど、年間を通して、地域の方々に関わっていただいた。 ・学校運営協議会や支援推進委員会にて子どもたちの様子を参観していただき、意見交流を行った。その出た意見を速やかに職員に共有し、指導の充実及び改善に生かせるよう試みた。 ・「チーム岩野田北」を合言葉に、課題を皆で共有し、組織で児童に関わることを大切にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域ボランティアが、地域の宝である子ども達を育成するために尽力したいという思いで関わっている。これからも学校と願いを共有しながら、共に歩んでいきたい。 ・学校運営協議会や支援推進委員会の方々や保護者に授業参観等で実際に子どもたちの姿を見ていただき、子どもたちの成長や課題を共有することを大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校・家庭・地域でめざす子ども像を共有し、様々な資源を活用しながら指導にあたり、地域の方々に積極的に学校運営に参画していただくことで、チーム岩野田北を実現する。 ・学校の活動を積極的に公開し、地域や保護者からの意見を聞きながら、よりよい学級づくり、学校づくりに努める。 ・子どもたちを第一に考え、愛情をもって接することができる温かい職員集団を目指し、校内で丁寧に研修、研鑽を積んでいく。
子どもたちが安心して学べる学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と共に、児童・学級・学年・学校の目指す姿を共有し、願いや目標の実現。 ・いじめやトラブル、悩みの早期発見・早期対応や未然防止に努め、所属感や安心感のある学級・学校づくり。 ・「よさみつけ」等により、自他のよさを認め合う関係の構築。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す姿を子どもたちと共有し、願いや目標を明確にさせて活動に取り組ませることができた。 ・ここたんの活用と見届け、SOSアンケートやいじめアンケートをもとに、丁寧に教育相談を行った。そこで把握した事案については校長のリーダーシップのもと、いじめ対策監を中心として組織的に迅速な対応を行い、即日解決に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員がいじめ事案を即日解決することや、一人ひとりの子どもに丁寧に寄り添う姿勢が徹底している。いじめについては、子どもたちが本音を話せるような環境づくりと人間関係の構築が大切である。今後も、家庭と学校で、子ども達の思いに寄り添っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての子どもたちが「いじめは絶対にいけないことだ」という意識をもつことができるよう、家庭と連携を図りながら啓発していく。 ・校内研修等を通して、児童を見取る力を高め、適切に対応していく。
災害、事故に対する安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら健康管理に努めたり、自他の安全を守る方法を身に付けたりする子どもたちの育成。 ・緊急時の教職員の共通理解、共通行動の徹底と地域組織との連携。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防や安全な行動様式の習慣化を図ったことで、子どもたちの健康安全への意識を高めることができた。 ・職員の危機管理意識を高めるために、命を守る訓練の見直しや各種研修を定期的実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが、怪我なく健康で安心して過ごせる学校づくりをこれからも継続してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに、怪我をしない体づくり(身体能力の向上)、健康な体づくりの指導を継続して行う。 ・自然災害や学校事故に対して、最新の知見を共有し、情報収集に努め、最適な行動をとる備えを怠らない。
教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ・どの子も過ごしやすいユニバーサルデザインの観点に基づいた教室環境づくり。 ・管理職や校務主任、校務員を中心とした、安心・安全な教育環境を維持する点検整備の確実な実施。 ・教育効果を上げるための適切な予算執行。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理意識を高くもち、校舍施設の点検を丁寧に、事故の未然防止に努めるとともに、危険箇所については校務主任によるとりまとめ、管理職への報告、校務員による修繕、PTAの協力、または市への報告と、常に迅速な対応を心がけ、校内環境整備に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域の人材を活用し、安全点検を行ったり、危険箇所の修繕を行ったりし、より多くの力で安心安全な教育環境の整備に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域など、多くの目で教育環境を見つめ、子どもたちの心身ともに健全な育成に資するための改善や物品の購入を進める。 ・老朽化による危険箇所が増えているため、発見時には速やかに市への報告及び修繕要望の提出を行い、環境整備に努める。